

令和2年度 第2回

白石町まち・ひと・しごと創生推進会議要録

日時：令和2年10月12日（月）10：00～11：40

場所：白石町役場 3階大会議室

1. 開会

○総合戦略課長

それでは本日の会議でございますが、前回の会議で委員の皆様には第1期総合戦略の効果検証をして頂きました。その結果を踏まえて、事務局と関係部署で協議を行い、現段階での第2期総合戦略の事業体系シートを作成いたしております。検討していただきたいと思っております。役場だけではなかなか気づかないことも多々あるかと思っておりますので、委員の皆様のご意見を賜りたいと思っております。積極的に発言をしていただければありがたいです。

2. 会長あいさつ

○総合戦略課長

それではお手元に配付しております次第により進めさせていただきます。会長あいさつ。はじめに会長であります副町長よりご挨拶をお願いいたします。

○会長

みなさんおはようございます。本日は大変お忙しいなか、本年度第2回目になります「白石町まち・ひと・しごと創生推進会議」にご出席いただきまして本当にありがとうございます。また、前回の会議の折にお願いしました第1期総合戦略の効果検証シートにつきまして、ご協力いただきありがとうございます。

今年度におきましては、新型コロナウイルス感染症のため、町内の様々なところに影響が出ておまして、白石町の町民体育大会、ぺったんこ祭りについても中止をさせていただいたところでございます。まだまだ予断を許さない状況が続いており、今後とも感染予防の徹底を続けていくことが必要と考えているところでございます。

また、いま町内では稲刈り真っ最中でございますけれども、JAによりますと、今年は長梅雨、台風、病害虫の影響などによって、多くが2等米、3等米ということになっているようでございまして、昨年度が非常に作況指数が悪くございましたけれども、今年も厳しい状況が続いているようでございます。

第2期のまち・ひと・しごと創生総合戦略の策定でございますけれども、まずは町民の方に、白石町は住みよいまちとさせていただくことを念頭に置きまして、学校再編計

画や農業の再生など、町の現状や実態を踏まえながら作成をしまいたいと考えております。

また、委員の皆様からは、「こんなにたくさんの取り組みがあるとは知らなかった」といった感想もいただいております。特に、子育て支援につきましては、数多くの施策に取り組んでおりますので、情報発信の強化にもっと力を入れて、若い世代の人口流出の防止、移住者や転入者の増加につなげていければというふうに思っているところでございます。

本日は、役場内で検討いたしました内容をもとに、協議をしていきたいと考えております。どうか、委員の皆様方には忌憚のないご意見を出していただきますようお願いいたします。私のご挨拶とさせていただきます。本日は最後までどうぞよろしくお願い致します。

3. 協議事項

○総合戦略課長

副町長ありがとうございます。それでは3番目の協議事項に入ります。ここからはこの会議の会長である副町長に会議の議長をお願い致します。

○会長

はい。それでは早速協議事項に入っていきたいと思っております。今日は2項目について協議をしていただくことになっております。それでは協議事項の(1)第1期平成27年度から令和2年度まで総合戦略の検証結果についてに入ります。

その前に前回の会議と検証シートにおいて、委員の皆さんから質問が出されておりましたので、担当課の方よりまず回答をお願いしたいと思います。まず商工観光課の方からよろしいでしょうか。

○商工観光課長

おはようございます。前回の会議の中で、3ページのところだと思います。6次製品のPRなり収益についての検証結果についてご質問があっていたかと思います。それではその検証結果、その内容についてご説明をいたします。現在、白石町では平成26年から令和2年まで6次製品の新規開発ということで事業を行っているところですが、令和元年までで6次製品が品目としては76品目が開発されております。事業者数としては40事業者、76品目を40事業者で開発をされておまして、今現在の状況になりますが、道の駅またはその他に出荷されている分が64。76のうち64が現在も製造されて出荷がされているというふうになっております。その他に、現在は事情があつて製造を休止している分が8品目。そしていよいよ製造中止という形になっている分が4品目という風になっております。ですから今現在12品目の分について製造がされていない状況となっているようでございます。製造中止の理由としましては、1つは営業不振により製造をとりあえず休んでおりますということと、委託された事業者がその委託を断

られた、できませんといった内容で休止されている事業者さんが8業者というふうになります。いよいよ製造中止ということになりますと4業者ですが、この分につきましても販売の不振及び申請者が亡くなられたということで4品目については販売があっていないということで、全体としては76品目のうち64品目の分については、現在道の駅もしくはその他の所で出荷がされているということで、パーセントで言いますと84%のところが出荷が現在行われているという状況でございます。そういったなか、全部の事業者さんにその収益状況と言いますか、収益があっているのかということでご質問をしましたが、全て回答があがっていません。しかしながら、現在販売をされている64品目については、目標までは行っていないにしても、収益があがっているんじゃないかなということで判断をしております。あとは今後道の駅に出荷されている分については、道の駅の販売の方に継続してして頂いて、さらなる売上向上をお願いしたい分ということと、町の方も他の機関と合わせてPR活動を行っております。首都圏の方にPR活動をする折には、6次製品のPRもしておりますし、そして金融機関の関係でいいますと日本政策金融公庫、また地方銀行主催のアグリフードエキスポやフードセレクション関係で、販路拡大に向けて積極的な事業者さんについてPR活動も行っておりますので、今後についてもそういった形で協力をしていながら6次製品の更なる販売促進に向けてご協力をお願いしたいと思います。以上です。

○会長

ありがとうございました。次に農業振興課の方からお願いいたします。

○農業振興課長

失礼致します。検証シートの中で、特に1ページの3の(3)、教育・研究開発機関の誘致と連携、それと2ページ目の5番(1)新規農業就業者対策支援、6の(2)しろいし農業塾ということで、この施策につきましては、全国的に農業の担い手の不足という観点から、新規就農者の確保を図りたいということで、様々な施策を展開しているところでございます。私の方からは今の取り組みの現状等についてご説明をいたします。本町におきます新規就農者対策につきましては、各機関で構成をしております白石町新規就農者確保対策協議会というものを設置しております。協議会の主催により農業をやってみようセミナーというものを毎年開催しているところでございます。このセミナーでは、町内の新規就農希望者を対象に、本町で栽培されている主要品目の紹介と標準的な経営資産というのを紹介しております。就農前から就農後まで活用できる補助事業や制度資金の説明も行っているところでございます。さらに希望者につきましては品目別研修会に参加して頂き、農作物についての知識を深めていただくこととしております。また農業委員や佐賀県農業士、各生産部会長の方々に就農アドバイザーというのになっていただいております。新規就農希望者を就農後5年以内の方を対象に、個別での農業指導にあたっていただける先進農家派遣メニューというものも用意しております。他では、新規就農相談があった場合に、杵島農業改良普及センター、杵藤農林事務所、

J A、町で情報を共有しながらワンストップで対応にあたっております。このような取り組みの成果もありまして、令和2年の市町別の就農者で申しますと、佐賀県内では就農者数では白石町がトップということになっているところでございます。以上でございます。

○会長

ありがとうございました。以上2件について、前回ご質問があっていた分でございます。この件について何かご質問ご意見等ありましたらお願いしたいと思いますが。よろしいですか。それではこの件についてはまた後で、何かあれば出して頂きたいというふうに思います。

(1) 第1期(平成27年度～令和2年度)総合戦略の検証結果について

○会長

それでは事務局から検証結果について説明をお願いしたいと思います。

○総合戦略課長補佐

失礼します。それでは私の方から第1期総合戦略に対する創生推進会議委員の皆さんから頂いた評価と主な意見について簡単にご報告をさせていただきます。資料につきましては皆様に事前にお配りもしておりましたが、本日改めて机の方に資料としてA3の横書きの資料を置いておりますので、どちらかをご覧いただければよろしいでしょうか。着座にて失礼します。

効果検証シートの1ページです。基本目標①「本気、やる気、元気、しろいし～若者が安心して働ける場をつくる」についての分ですが、実績値が出ていない、1番左側の番号ですが、1番2番4番の施策については、KPI達成について有効であったとは言えないというのがほとんどでした。そして主な意見といたしましては、1と4の施策でPR不足という意見を頂いております。

2ページをお願い致します。2ページの2.「新規就農者及び農業後継者の育成・確保」については、多くの方にKPI達成に有効であったとの評価をいただいておりますが、主な意見としては、目標は達成できていないが地道な取り組みが必要、農業者を育成していくために必要な事業だと思っておりますとの意見をいただいております。

3ページをお願い致します。3.「新しいことへ挑戦する人への積極支援」では、9番10番の施策で多くの委員の方から有効であったという評価を頂いておりますが、8番「白石町創業者支援制度」では有効であったとは言えないという評価が多くなっておりまして、その主な意見といたしまして、より周知を、実績はないが支援制度は必要という意見をいただいております。そして一番下の11番「商工業者などへの支援」への主な意見としましては、どのKPIを目標に取り組んだのかわからないというご意見を頂いておりますが、前回の私の説明不足が原因だったと思っておりますけれども、KPIは数値で示せる代表的なものやそれ以外ではなるべくすべての施策に関わるような数値を設定

しております。ですが施策によっては設定していない分もありますので、そのことを説明しておりませんでした。そういったことでこのように戸惑われたと思っております。申し訳ありませんでした。

4 ページをお願いいたします。4. 「ふるさとで活躍する人材の育成」では確認できる実績値はゼロでしたが、実施した事業などから多くの委員の方から有効であったと評価は頂いていますが、主な意見ではこれに関係するK P Iがないという指摘を受けております。若い人たちが一旦町外に出てもこのような取組を行うことで、Uターンにつなげるという目的でのK P Iの設定でしたが、対象者が主に小中高校生であるため、計画期間内での把握は難しいという風になっております。このため、ここのK P Iは見直すということで考えております。

5 ページをお願いいたします。基本目標②「来てよか、見てよか、食べてよか、住んでよか、しろいし！～白石への新しいひとの流れをつくる～」の 1. 「白石町の魅力発信」については有効であったとの評価をいただいております。

6 ページをお願い致します。2. 「定住促進、移住支援」では、16 番と 18 番の施策で有効ではなかったとの評価で、主な意見としては、私がこの時の説明の中で、肥前白石駅の利用促進につながる検討をしていくというお話をしたために、J R の運行本数が減る中、土地買収をして駐車場を作るメリットがあるのだろうかという意見と肥前山口駅利用者に対する支援も検討してはどうかという意見もいただいているところです。

7 ページをお願い致します。3. 「地域観光資源の再発見」では、すべての施策では、ほとんどの委員の方から有効の評価を頂いております、主な意見としては、民間企業との連携を検討くださいという意見を頂いております。

8 ページをお願い致します。基本目標③「出合いに感謝！目指せ子宝のまち、しろいし！～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～」の 1. 「結婚推進対策の充実」と 2. 「出産支援」、ともに多数の方に有効であったとの評価をいただいておりますが、目標自体は達成できていないため地道な取り組みが必要との意見をいただいているところです。

9 ページをお願い致します。3. 「子育て支援」でも 26 番の「病児病後児保育の実施」以外では有効であったと評価は頂いておりますが、K P I が 26 番の事業にしか関連していないためにK P I との関係がよくわからないとの意見が多く出ております。

11 ページをご覧ください。4. 「教育環境の整備」では全ての委員の方に有効だったとの評価をいただいております。

12 ページをお願いいたします。基本目標④「くらしに豊かさを、地域に絆を、人の温もりを感じるまち、しろいし！～まちに活力をもたらし、地域をみんなで盛り上げる～」では、1. 「町民協働によるまちづくり」、2. 「安全・安心で快適な住みよいまちづくり」ともに施策が有効であったとの評価をいただいておりますが、地域づくり協議会につきましては目標の達成ができていないという意見をいただいているところです。

最後になります、13 ページをご覧ください。3. 「誰もが活躍できるまちづくり」では、実績値が概ね達成できたため、ほとんどの委員の方から有効であったとの評価をいただいております。そしてそのページの一番下には委員の皆様から頂いた様々な意見をそこに示しております。海外との連携、農産物の加工を行う企業の誘致、農産物のPRなど、いろんな意見をいただく中、一番下のところになりますけれども、働く場の提供、町内に住み働く人への支援に注力すべきという意見を頂いております。町といたしましても、これらの意見を参考にしながら、限られた資源ヒトモノカネを有効に活用いたしまして、皆さんの期待に応えられるように今後も総合戦略に取り組んでいきたいと思っております。そして最後になりますけれども、前回の会議の時にも説明させていただきましたが、今回報告致しました創生推進会議の評価と前回説明しました役場担当所属における内部評価、この2つがPDCAサイクルの中のCチェック評価となります。これをもとにアクション改善をして、この後説明いたします第2期総合戦略の事業体系等検討シートを作成し、素案ということでしていますのでよろしくお願いいたします。説明については以上です。

○会長

ありがとうございました。ただいまの説明についてご質問ご意見等ございましたらお願いしたいと思っております。それではないようでございますので、またご質問等ありましたら出していきたいと思っております。

(2) 第2期(令和2年度～令和6年度)総合戦略の事業体系等検討シートについて

○会長

それでは協議事項(2)第2期(令和2年度～令和6年度)総合戦略の事業体系等検討シートについてに入ります。事務局から説明をお願いします。

○白石創生推進係長

よろしくお願いいたします。私の方から、(2)の事業体系等検討シートについてご説明を致します。第2期総合戦略(令和2年度～6年度)の事業体系等検討シートについてでございますけれども、第2期につきましては4つの基本目標と2つの横断的な目標に沿って計画を策定することとなっております。4つの基本目標は第1期と同じでございます。それに2つの横断的な目標としまして、「多様な人材の活躍を推進する」、「新しい時代の流れを力にする」といったものが新しく第2期の総合戦略から加わっております。説明につきましては、4つの基本目標ごとにさせていただきたいと思っております。第1期の効果検証シートと見比べながら聞いていただければと思います。

まず、基本目標①「本気!やる気!元気!しろいし!～若者が安心して働ける場をつくる～」でございます。この絵柄につきましては、SDGsで17のゴールがあるうち、基本目標①に該当するものを掲載しております。数値目標につきましては、基本目標①の中に4つの項目があります。1つ目が「企業誘致や起業等による雇用の確保」、2つ目

が3ページでございますが、「新規就農者及び農業後継者の育成・確保」、3つ目が4ページの「新しいことへ挑戦する人への積極支援」、4つ目が5ページの「ふるさとで活躍する人材の育成」。この中のそれぞれK P Iの中から選んで掲げております。「新規農業従事者数5年間で125人」、「企業誘致するための候補地の確保5年間で1カ所」、この2つが基本目標①全体での数値目標ということになります。

それでは、項目ごとにご説明致します。1.「企業誘致や起業等による雇用の確保」です。第1期では、企業や教育機関、公共的機関の移転の誘致による雇用の確保でございましたので、若干文言を修正しております。K P Iですが、第1期でありました「公共的機関」と、「企業の誘致数」につきましては、廃止を致しまして、新しく「出店数5年間で3店」、「企業誘致するための候補地の確保5年間で1カ所」、この2つにしたいと考えております。これは、事務局の案ですので、委員の皆様にご検討いただきたいと思っております。

次に具体的な施策です。まず「女性にやさしい空間づくり」ですが、内容を見ていただきますと、実現がかなり難しいということもあり、事務局と、検討委員の皆様の評価がK P I達成に有効であったと言えないという結果でしたので、下の黄色のところ、(1)「働く人たちにやさしい空間づくり」という新規のメニューを作りましてそこへ集約したいと考えております。

「働く人たちにやさしい空間づくり」ですが、女性が求めるニーズを掴み、女性に配慮した施設整備や、若者が集まる空間作りに努めます。外国人が気楽に集まれる場所・空間作りに努めます。主要道路沿いや商店街の空き店舗を活用した出店や起業を推進し、女性や若者の働く場の創出を図ります。ということで、女性、若者、外国人に焦点を当てた施策に取り組みたいと考えています。具体的には、ユニバーサルデザインの推進、女性が求めるニーズ調査、あるいは空き家空き地バンクの活用、白石町地域商業活性化事業空き店舗事業等を考えております。

続きまして、「公共的機関の誘致」と「教育・研究開発機関の誘致と連携」でございます。K P Iに有効であったとは言えない評価をいただいたことと、町の現状としまして、誘致するための町有地が現在ありませんので、下の黄色の「企業誘致するための候補地の確保」へ変更をしております。企業誘致は以前から言われているところですが、内容にありますとおり、まずは、白石町に適応した企業を誘致するため、町有地を含め候補地を検討し確保します、ということで、まずは土地の確保から取り組むこととしたところです。以上が1となります。

続きまして、3ページ、2.「新規就農者及び農業後継者の育成・確保」です。K P Iは、「新規農業従事者数5年間で125人」、「しろいし農業塾卒業者の農業従事者数5年間で15人」、「農業従事者被雇用者数5年間で25人」としております。

具体的な施策ですが、(1)「新規農業就業者の確保及び新規農業者支援」ということで、赤字が今回追加をしているところです。実施事業については、たくさんござい

すが、農業をやってみようセミナーなどの開催、青年等就農給付金などの助成、経営面や資金面でのアドバイスや指導を実施していくことになっております。

(2)「しろいし農業塾」です。赤文字の部分が追加したところですが、現在3期生でございまして、来年度は4期生となります。対象とする作物をイチゴにしぼって、白石地区いちごトレーニングファームで研修を行うとありますが、現在の3期生からそのような形となっておりますが、総合戦略に明記する形になっております。塾生の就農にあたって必要となる住居、農地、施設整備等についてサポートを行います、ということですので、特に住居などは関係部署が協力して事業を継続していくこととしております。

(3)「農業従事者（被雇用者）確保対策」です。これについては内容の変更はありません。実施事業は、農の雇用事業や農業人材確保相談窓口の案内等を行うとしております。以上が2ということになります。

続きまして4ページ、3.「新しいことへ挑戦する人への積極支援」です。K P Iは、「起業・創業者数5年間で3人」、新規K P Iとしまして、「璃の香作付農家数5年間で3戸」。なお、「6次産品開発件数」は廃止としております。

具体的な施策です。(1)「白石町創業者支援制度」です。K P I達成に有効であったとは言えないという評価をいただきましたが、これからも継続をさせていただきたいと考えております。実施事業については、関係課で掲げておりますが、この中で、総合戦略課の東京圏在住者移住支援事業につきましては、地方創生の補助事業でございまして、東京23区に一定期間住んでいた又は23区内の企業等に働いていた方が白石町へ転入して、基準を満たす企業へ就職又は起業される場合に、移住支援金が交付される事業でございまして。

続きまして、(2)「新規農産物の作付け拡大」でございまして。施策名を変更しております。内容ですが、新規農産物の主要品目である「璃の香」について、新たに作付けを行っていただく方を募集し、作付け拡大を図ります、ということですので、璃の香に特化した戦略となっております。実施事業は、苗木の購入補助や技術的支援を行うとなっております。

続きまして、「6次産業化の推進」でございまして、開発目標件数が達成したこと、令和2年度をもって補助事業を終了することということで、次の(3)「商工業者などへの支援」に集約となっております。内容は、新商品や新製品の開発、新たな販売促進及びインバウンド対策等に取り組む人への支援を行います、ということですので、赤文字のところが変更箇所となっております。以上が3項目となります。

続きまして5ページが、4.「ふるさとで活躍する人材の育成」でございまして。K P Iにつきましては、「Uターン者数」は、委員さんの評価におきましても、具体的な施策との関係性がよくわからないといった意見がありましたので、廃止としております。代わりに「企業等と学校が連携する取組みの数5年間で20回」といったK P Iを掲げております。

具体的な施策ですが、(1)「ふるさと学の推進」につきましては、第1期と同じ内容となっております。実施事業につきましては、副読本を使っての学習の推進、職場体験学習を継続するとしております。

(2)「地元定着の促進」です。これも第1期と同じ内容です。実施事業につきましては、白石高校と佐賀農業高校との連携、佐賀女子短期大学との連携を継続していきます。以上が4となります。ここまでが基本目標①となります。

○会長

ただいま基本目標①の4項目について説明がございました。これについて何かご質問ご意見ありましたらお願いしたいと思います。

○委員

4ページの変更のところの「新規農産物の作付け拡大」の「璃の香」というのはイチゴの苗のことですね。

○会長

それでは担当課の方からお願いします。

○商工観光課長

ご質問の「璃の香」ですが、これについては白岩の農産物試験場でしております「レモン」です。数品目実際試験的に作付けをしておりますが、この璃の香の方は今道の駅の方で販売しておりますが、数量的にも値段的にもかなり道の駅で販売ができているということで、その分について推進をしていきたいということから書いております。以上です。

○会長

よろしいでしょうか。他にございませんか。

○商工観光課長

あとひとつすいません。実施事業の中に、すでに苗木の購入補助ということと技術支援について記載をしておりますが、技術支援については今白岩地区の試験組合の方で実際作付けをして頂いておりますので、技術支援についてはこのまま可能だよということですが、購入補助についてはまだ正式に予算化されているわけではなくて、今後予算化を来年度以降する形になりますので、ここの部分については場合によっては、変更になる可能性があるということになります。

○総合戦略課長補佐

今、商工観光課長の方から説明がありましたけれども、総合戦略につきましては令和2年度から令和6年度までの取り組みたい事業、目標ということで掲げておられて、まだ実際予算化にはなっていないので、この璃の花だけではなくて、その他の事業におきましても、あくまでも今現在の目標、取り組みをしたいということで掲げているということでご理解いただければと思います。よろしく申し上げます。

○会長

それでは他にございませんでしょうか。

○委員

2点質問させてください。私たちの抱える問題として人口減少というのが明らかに
出ているんですが、白石町が栄えるためには1つは定住、もう1つは人を外部から呼ぶ
という考え方があると思うんです。まず、定住をやる場合に出口を何をもってこの計画
を作るのかという質問と、もう1つ外部から人を呼ぶということの観点に対してどうい
う施策で重点的にやって行くのかというのを質問させてください。非常に分かりにくい
と思いますのではっきり申しますと、例えば定住では、施策の中であがっていますが、
非常に白石町というのは第一産業が中心のまちでございます。基本的には二次産業、三
次産業に関係はしてくるのでしょうか、そこが栄えなくてはいけないと私は思っており
ます。前回の反省等ございまして、例えば農業で言えば新規農業者数、今度のK P Iの
数字であがっておりましたが、確かにK P Iの数字は前回も達成をしているのでしょ
うが、その後ですよ、基本的には。本当にフォローができているのかというところが私
は非常に大事だろうと思っております。そのへんのフォロー体制が自治体、例えば金融
機関もそうでしょうし、役場、商工会、農協さん、その辺の連携をとっていかなければ、
非常に限界があると思うんです。もう一つ観光の面から言えば、前回もあがっており
ましたが、観光のルートをいくつかやりましょうということであがっておりますが、具
体的にここに今から施策をやっていくわけでしょうか、例えば、ここにあがってますよ
うに農業体験という観点から見れば、非常にここの地はいいものがありますが、例えば
レンコン掘り体験をやりましょうという、結構要望が外部から多いんです。そうであ
れば、レンコン掘りの場所はあるんでしょうが、洗い場の問題とかそういう問題を具体
的にやっていかないと、具体的なルートが出てこないと思います。元に戻りますけれど、
定住で一番大きく問題視されていることは、もう一つ外部から人を呼ぶためにはどうし
たらいいのかということをもっと具体的に煮詰める必要があると思っておりますがその
辺はどのようにお考えでしょうか。

○会長

今のご質問については定住人口・交流人口、この増と言いますか、定住人口について
はある程度新規農業従事者数が増えているがその後のフォロー、各機関一体となったフ
ォローができているのか。交流人口を増やすにはいろんな環境の整備、そういったこと
が必要ではないかという趣旨でのご質問だったかと思っておりますが、これについて願
いしたいと思います。

○総合戦略課長

座って説明をいたします。町の方では移住定住は総合戦略の一番重要な点、都市部
から田舎へということで人口の流れを作るということで、この総合戦略は作成いたし
ております。この中でやはり先ほど言われた通り、移住定住の施策というのが一番重
要ではないかというふうには思っております。後段の方で様々な施策等ありますが、総
合戦略

の方では、例えば空き家・空き地バンク等を創設いたしまして、町外から来られる人に助成を行うという風な事業を行っていますし、あと外部からどのような重点的な施策で来て頂くかというのが非常に重要な問題かと思えます。実際、こちら総合戦略課の方で把握しております点についても、やはりどうしても都市部に就職とか、そういった機会で行ってしまわれるという問題がございます。大都市に行くよりも県内の近隣の市町に結婚であったり、就職であったり、そういうことで出られるという状況がかなり多いのかなというふうに考えておりますので、そういった点をこの施策の中に盛り込んでいきたいというふうに思います。具体的な回答になっていないかもしれませんが。

○総合戦略課長補佐

まず、最初に言われた定住に対する考え方ということですが、町といたしましては、今住んでいらっしゃる方、住民の方々が、まず住んでいて良かったという風に思っただけでなく、これが一番重要だと考えております。そういったことから、住んでいただくためには、住民福祉サービスであったり、その他いろいろ学校の教育環境の整備とか、総合的に取り組んでいって、まず住んでいただいている方々の満足度を上げて、その満足度をよそに波及効果を促すといったことでしていければと考えているところです。町外からの移住支援につきましては、先ほど課長の話にもありましたように、空き家・空き地を利用活用してとかいうことで考えておりますが、今後につきましては、また新たな施策等が必要であれば、関係部署で協議をしながら検討していきたいと思っております。そして各農業関係の事業とか、そういった取り組みやフォローアップが必要ではないかという意見につきましても、今後事業を実施していく中で、個々の検証だけではなくて各担当部署で効果検証をしていくことになると思っておりますので、そこら辺を踏まえながら町全体で考えていくことになろうかと思っております。以上です。

○会長

先ほどご質問についてはまたこの後の基本目標の中でもいろいろな施策が出てくるかと思えますけれども、その中でもまたご意見等を出していただきたいと思えます。よろしいでしょうか。

○委員

いま説明はだいたいわかりました。非常に施策的にはいろいろ考えられまして、こういう方向でいいかと思うんです。ただ今後計画を策定するにあたって、建前と本音がございまして、本音的には白石町にお金が残るような計画にして欲しいと、はっきり言って。そこを出口としてやってほしいなと思っております。たびたび言いますが、農業をやりますよとって、基本的に10年後20年後に農業で本当に飯が食えるのかという話なんです。二次産業三次産業も同じなんでしょうけれども、基本的にはどんな綺麗事を言っても、一生懸命やるからには労働の対価としてやっぱりお金が残るようなシステムを自治体と民間が一緒になってやっていく必要があると思っておりますので、今現在の計画自体はこれでいいかと思うんでしょうけれども、はっきり言ってお金が残ると言うか、レ

ジュメにございましたけれども、農業に関しても作る農業から経営できる農業、儲ける農業をやりましょうということがまさしくと思うんです。そこを目指して計画を作っていきたいと思っておりますのでその点をよろしくお願いします。

○会長

今のご意見ではもっと白石町にお金が残る、そういった具体的な施策をぜひしてほしいということだと思います。この点については、またこの後の基本目標を進めながら色んなご意見を頂きたいと思います。他にございませんでしょうか。

○委員

失礼します。白石町農業塾について質問なんですけれども、K P I の数値がしろいし農業塾卒業生の農業従事者数ということで書いてあるんですが、卒業生のすべてが農業にそのまま就農されるわけではないのでしょうか。現状を聞きたいなと思いました。

○会長

農業振興課からお願いします。

○農業振興課長

しろいし農業塾のことで説明をさせていただきたいと思います。この農業塾につきましては平成 27 年度からしております、この塾の趣旨につきましては担い手減少に伴う農業者の確保というのと、定住人口の増加を図りたいということで、このしろいし農業塾を設立したわけでございます。この塾生は基本、県外からの移住者がこのしろいし農業塾の対象ということで、県外からこちらの方に移住をしていただいて、このしろいし農業塾の方で研修をしていただいた後、農業に従事していただくというのがこの農業塾でございます。現在農業塾生につきましては、3 ページのところに書いていますが、白石地区のいちごトレーニングファームの方で今現在いちごの研修をされておられまして、いま 3 期生という方が昨年から入られて今 2 年目で、その後来年 3 月に卒業されて 4 月からいよいよいちごの方の経営をされる予定となっております。また今年度も第 4 期生の方が入られていまして、今現在いちごの研修をされているというところでございます。先ほど言われたかと思いますが、やはり入口対策も必要なんですけれども、出口対策、いわゆる就農された後の経営の面で、これをしっかりサポートしないと、そういった白石町の方にお金が落ちないということでございますので、現在も県や J A さん、それから町の方で定期的に、すでにしろいし農業塾で就農をされた方については定期的に色々な面からサポートをしているという状況でございます。

○会長

卒業生全員さんが就農されているという状況ですね？

○農業振興課長

先ほど申しましたとおり、3 期生の方が去年の 4 月に入校されて、今 2 年目で、その方たちは来年 3 月に卒業をされて、4 月にイチゴの経営をされる。それと 4 期生が今年度からなんですけれども、この方々はまだ始められたばかりということなんです。

期生、2期生についてはすでに就農されている状況です。

○会長

よろしいでしょうか。はいお願いします。

○委員

K P Iのところは塾生を増やすということの理解でいいでしょうか。卒業者の農業従事者数というのはもちろんあると思うんですけども、単純にしろいし農業塾の塾生を5年間で15人にするという考え方でよろしいでしょうか。

○農業振興課長

基本的には農業塾の方で研修された方は、白石町内の方で就農していただくということが条件でございますので、農業塾の確保を図るということで、5年間で15名の方々に就農していただくということで考えております。

○会長

よろしいでしょうか。他にございませんか。はい、それでは先に進ませていただきたいと思います。次に6ページからでございます。基本目標②についてご説明をお願いいたします。

○白石創生推進係長

6ページから基本目標②「白石への新しいひとの流れをつくる」というところです。数値目標としまして「観光入込客数（道の駅来店客含む）令和元年351,465人を令和6年386,600人」、それと新規目標としまして「移住・定住者数5年間で80人」としております。まず、1.「白石町の魅力発信」です。K P Iは、「道の駅来店数」は廃止をしております。「町ホームページアクセス数 令和元年44万件を令和6年52万8千件」ということで掲げております。

具体的な施策です。(1)「道の駅運営支援」ということで施策名を変更しております。内容につきましても、町の農水産物・6次産品や観光等の情報発信の拠点として運営の支援を行います、ということでハード事業の終了に伴う変更となります。

(2)「がばいよかこ発信事業」です。これは第1期からの継続の取り組みとなります。実施事業につきましては、福富インター開通に合わせたPRなどを考えております。

(3)「関係人口の拡大」につきましては、新規の施策ということで掲げております。内容は、本町への通勤通学者などと継続的に関わっていき、将来的な移住・定住などにつながる取り組みを行います、ということで、実施事業については、町外から町内の高校への通学生との交流、あるいは、在京ふるさと会等との交流ということで考えております。これらは以前から行っていることですが、関係人口の拡大という戦略のもとに行っていくこととしたいというふうに考えております。

続きまして7ページでございます。2.「定住促進、移住支援」でございます。K P Iですが、「空き家空き地バンク登録件数5年間で40件」、新規のK P Iとしまして「移住・定住者数5年間で80人」としております。この数値は町の取組みで把握する分と

いうこととしております。

具体的な施策ですが、「農村型振興分譲住宅地の創設」につきましては、廃止としております。

次に(1)「空き家・空き地バンク、お試し移住」でございます。赤文字は変更箇所ということで全文変更となっております。内容にありますとおり、登録された空き家などを活用したお試し移住制度を創設します、ということで、しろいし農業塾などとの連携が考えられます。

次の「県外への通勤者への駐車場代の助成」でございますが、委員の皆様からK P I達成に有効であったとは言えないという評価をいただいております。下の黄色の(2)「J R通学者・通勤者の利便性向上」という新しい施策を作りまして、そちらへ変更したいと思っております。内容は、通学者・県外通勤者のJ R利用を促進するため、駅周辺を整備する。ということで、駅周辺の整備をしたいと考えております。

(3)「生活排水処理施設の整備の促進」につきましては、前回の会議で承認をいただき追加した部分となります。下水道事業において、国の補助事業を活用するために、総合戦略に掲載するものです。

続きまして8ページです。3.「地域観光資源の再発見」です。K P Iは、「観光入込客数令和元年351,465人を令和6年386,600人」、「観光ルート数5年間で3本(見直し含む)」としております。

具体的な施策ですが、「広域的なグリーンツーリズム」については、下の黄色の新規施策(1)「多様な観光体験の充実」に変更しております。内容は、体験型観光のコンテンツの充実とコト消費総額増加を目的とした誘客活動を図ります、ということで、農業体験、自然体験等のプログラム策定というふうになっております。

次の(2)「文化財の再発見」ということで施策名を変更しております。内容は、埋もれている文化財の価値を高めるため、国の史跡等の指定、登録記念物への登録等に向けた取り組みを行います、ということで、須古城の国史跡化に向けて、竹の伐採、詳細地形測量図作成、確認調査などを行っていくこととしております。

次に(3)「交通手段の拡充(観光客の利便性の向上)」です。内容は一部変更しまして、町内J R駅を利用した観光客が、手軽に町内を観光できるような環境を整備します、ということで、実施事業については、県やJ R等と連携したシェアサイクル事業に取り組んでいるところです。

次の(4)「白石町観光振興基本計画による事業の実施」というふうに施策名を変更しております。内容は、白石町観光推進協議会で、観光ルートの設定・見直しを図ります、と変更しております。大きな基本目標②についての説明は以上となります。

○会長

基本目標②についての説明でございました。何かご質問ご意見ございましたらお願い致します。

○委員

7ページの空き家・空き地バンク、お試し移住という所でちょっと質問ですが。私の勉強不足もあるんですが。空き家バンクとかに登録するときに、その建物自体の安全性とか性能とかの検査というのはあるのでしょうか。例えばお試し移住されるということでその家に住まれた時に、実際に住まれる方の安全が確保できる家なのかというところがちょっと気になって。例えば雨漏りがするとか、耐震的に問題があるとか、そういうところはちゃんと登録される時の検査が実施されるのでしょうか。

○会長

はいお願いします。

○総合戦略課長補佐

空き家・空き地バンクの登録物件、その中で空き家の登録物件についてのご質問かと思えます。このバンクに関しまして、町内に事務所がある不動産業者さんと代表者の方が町内に在住されている不動産業者さん、4つの不動産業者さんと協定を結んでおりまして、その4つの業者さんの協力のもとにバンクの制度を運営しております。一応空き家バンクの登録物件につきましては、2年以上住める物件ということでしておりまして、その判断につきましては私達ではできませんので、その不動産業者さんの方々が2年以上住めるということであれば登録をしていただくというふうにしております。言われている耐震判断まではおそらくまだしてはいないと思っております。お試し移住の物件につきましては、空き家・空き地バンクの方から適当な物件がありましたらお願いしていきたいと思っておりますが、なかなかこれまで1年以上探しておりますが、まず賃貸物件がなかなか出てこないという状況でもありますので、もうちょっと対象範囲を広げてと申しますか、色々な探し方をしなければいけないのかなと思っております。以上です。

○会長

よろしいでしょうか。他にございませんか。よろしいですか。はい、それでは他にないようですので、次に基本目標③9ページの説明をお願いします。

○白石創生推進係長

基本目標③「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」となっております。数値目標としまして「合計特殊出生率平成30年1.41を令和6年1.50」、「婚活サポート事業による成婚数」につきましては廃止をしまして、代わりに新規としまして「子育ての感じ方満足割合（就学前児童の親）41%を令和6年に45%」、「子育ての感じ方満足割合（小学生の親）35%を令和6年に40%」としています。この満足割合は、令和2年3月に策定されました「第2期白石町子ども・子育て支援事業計画」の中のアンケートの数値を活用しております。

1.「結婚推進対策の充実」です。KPIにつきましては、「婚活サポート事業による成婚数」から「成婚数5年間で40組」と内容を変更しております。

具体的な施策ですが、(1)「婚活サポート事業の拡充」につきましては、第1期に引き続き継続をしていきます。

次の(2)「結婚新生活支援」は新規での取り組みということで掲げております。新婚生活者への支援ということで、結婚新生活支援事業の実施につきましては9月21日の佐賀新聞に掲載されたところですので。これにつきましては、年齢や世帯年収の要件を満たす方を対象にしまして、家賃や引っ越し代などの費用に助成する国の補助事業でございます。来年度から、年齢が39歳以下、世帯年収が540万円未満の方を対象に、60万円を上限に助成するというので、現在の制度よりかなり拡充をされます。今後、財政面や人員面などの検討をしていきたいと思っております。

続きまして10ページ、2.「出産支援」です。KPIにつきましては「合計特殊出生率1.41を1.50」としております。

具体的な施策ですが、(1)「不妊治療制度の拡充」につきましては、今後も継続をしていくとしております。国においても保険適用などの検討がなされております。

次が(2)「多子世帯への助成」です。これも継続していくこととしております。赤字についてございますが、町独自軽減策である、3人目以降の保育料の30%軽減を継続していきます。ということで、お兄ちゃんやお姉ちゃんが小学生以上で保育園に通う園児が3人目というときに、町の施策で保育料が30%軽減されています。この取り組みが、あまり知られていないことから、表現を変えております。

続きまして11ページ、3.「子育て支援」です。KPIですが、「町内での病児・病後児保育施設数」を廃止しまして、代わりに「子育ての感じ方満足割合 就学前児童の親と小学生の親」ということで掲げております。

具体的な施策ですが、(1)「病児・病後児保育の実施」については、内容を利用可能施設の拡充に取り組みます。というふうに変更しております。

(2)「一次預かり事業等の充実」、(3)「子育て支援の情報発信強化」につきましては、継続をしていきます。

(4)「子育てに関するワンストップ相談体制の整備」ですが、内容を、子育て世代包括支援センターに加え、子ども家庭総合支援拠点を保健福祉課内に設置し相談体制を強化します。というふうに変更になっております。令和4年度までに子ども家庭総合支援拠点を設置することとしております。

次の(5)「公園施設の充実」ですが、遊具の設置や更新につきましては白石町中央公園に集約をして、福富マイランド公園と有明スカイパークふれあい郷については芝生の公園ということで、役場内で協議をしております。

(6)「切れ目のない子育て支援の実施」ですが、医療費や給食費などの経済的な支援だけでなく、相談や訪問、専門機関との連携などを含めたところでの切れ目のない子育て支援ということで、内容を変更しております。

続きまして12ページ、4.「教育環境の整備」です。KPIは、「コミュニティ・スク

ールの導入・継続 町内全小中学校」、それと新規で「教育環境の整備 町内全小中学校」としております。

具体的な施策ですが、(1) が新規としまして、「教育環境の整備」です。小学校と中学校の再編整備を行うために掲げております。実施事業につきましても、中学校統合再編と小学校統合再編を行うこととなっております。

(2) 「コミュニティ・スクールの導入・継続」につきましては、第1期からの引き続き継続をしていくこととしております。基本目標③については以上となります。

○会長

基本目標③についての説明でございました。何かご質問、ご意見ございましたらお願い致します。

無いようでございますので、最後、基本目標④について説明をお願いします。

○白石創生推進係長

13 ページ、基本目標④「まちに活力をもたらし、地域をみんなで盛り上げる」でございます。数値目標でございますが「地域づくり協議会設置 5年間で8カ所」としてあります。

まず、1. 「町民協働によるまちづくり」です。KPIは、「地域づくり協議会設置 5年間で8カ所」、「NPO法人の設立数 5年間で3件」としてあります。

具体的な施策ですが、(1) 「地域づくり協議会の設立支援」です。生活環境など地域の問題を地域住民が主体となって解決するため、地域内の各種団体などで構成する仮称地域づくり協議会、概ね現在の小学校区単位での設立を支援しております。この地域づくり協議会には、若者や女性の積極的な参画を促しております。実施事業ですが、モデル地区の取組み支援としまして、令和元年度に須古地区、令和2年度に六角地区、令和3年度に1地区を指定して取り組んでいくこととしています。

(2) 「NPO法人・CSO活動の支援」ですが、第1期から引き続き継続をしていきます。実施事業は、NPO法人設立支援、CSOの活動支援、多文化共生型日本語教室を予定しております。

続きまして14 ページ、2. 「安全・安心で快適な住みよいまちづくり」です。KPIは「自主防災組織の組織率 5年後に100%」としてあります。

具体的な施策ですが、(1) 「自主防災組織の組織化推進」につきましては、第1期から引き続き継続をしていきます。

続きまして、(2) 新規の取り組みとしまして「自然災害に備える」・「快適に暮らす」住まいづくり」としてあります。内容ですが、自然災害へ備える住宅づくりを推進する分野では、「住宅・建築物耐震改修事業」、「がけ地近接等危険住宅移転事業」に取り組むこととしてあります。次の既存住宅の機能向上やバリアフリー化などへの支援を継続、または検討しますということで、長寿社会課の事業は以前より実施されていますが、情報発信も含めて掲載しております。また、建設課の住宅リフォーム補助につきましては、

事業内容をはじめ、財政面や人員面などの検討をしていくこととしております。

続きまして 15 ページ、3. 「誰もが活躍できるまちづくり」です。K P I でございますが「地域づくり協議会の設立数」は削除でお願い致します。新しい K P I といたしまして「健康体操サロン数 令和 2 年 29 箇所を令和 6 年 35 箇所」、「シルバー人材センター一年間登録者数 5 年後に 120 人」としています。

具体的な施策ですが、(1) 「生涯現役としての活躍推進」につきましては、第 1 期に引き続き継続をしていきます。

(2) 「女性活躍の推進」についても継続をしていきます。実施事業としまして、女性団体交流会の活動支援、地域づくり協議会や設立準備委員会への積極的な参加、各審議会などへの女性参画の推進に取り組むこととしております。

(3) 「地域団体によるつながり強化」につきましても継続をしていきます。各団体が連携する仕組みづくりや取組の支援を考えております。基本目標④については以上となります。

○会長

基本目標④について説明がございました。何かご質問ご意見お受けしたいと思えます。無いようでございますけれども、全体を通してでも結構ですけれども、何かご質問ご意見ございましたらお願い致します。

○委員

この前も話しましたがけれども、販路支援のような話になってくるのですが、例えば道の駅しろいしでいまやられていると思うのですが、自分の方に相談があるのが、年配の方でネット販売を始めたいとか、これから先は売り方が多様化して、ネットなどをすれば、自分たちの子どもも、別の方もやってくれるのではないかということで相談を結構受けております。なかなか汎用品を個別で売るのは大変なので、できれば道の駅を活用して、ウェブ上で道の駅などを作って、皆さんの分をまとめて売ったりとかできないかなというのが 1 つです。やはり仕事をするにあたっては、自分のする仕事が素晴らしいと思わないとなかなか進まないの、例えばウェブに生産者の方のホームページなどを載せて、こういうことをやっていますというようなことをして売ることができる方法ができないかなと思っています。売るのも全体的にば一と売るのではなくて、例えば、白石町に関係のある地区に絞って集中的に販売してみるというような形で、少しずつ町の輪を作っていくみたいな形ができないかなと思っておりますがいかがでしょうか。

○会長

ありがとうございます。これにつきまして商工観光課の方からお願いします。

○商工観光課長

道の駅しろいしを通じたネット販売ということでございます。大変有効な対応かなと考えておりますが、現在電話注文による販売は受け付けおられておりますが、ネット販売については実際取り組んでおられないという状況でございます。今後道の駅しろいし

の売上向上にもつながるようであれば、道の駅しろいしの方にそういう取り組みができないか、先ほど言われましたとおり、各個人のホームページを道の駅のホームページへリンクする対応ができないかなど、そういった形でもお話をしてみたいと思います。しかしながら、いま道の駅の分については手数料が17%、ものによっては20%ということで決まっておりますので、そういった手数料関係が、店内に並ばないということになりますので、そういった形の手数料関係も今後協議が必要になるのではないかと考えております。以上です。

○会長

もう一点、白石町に関係があるところに、まずは集中的にPR・販売をしてはどうかというご意見がありました。その点はどうでしょうか。

○商工観光課長

いま福岡をターゲットとして集中的に販売等PRを行っております。今年はコロナの関係でいっておりませんが、毎月第3水曜日に水曜日という形で福岡市役所の周辺の一角を借りて、白石町の農産物、6次産品についてもPR・販売を行っているところです。この目的としましては、道の駅しろいしが開業して、今後福岡インターが開通するといったときに、福岡県内からのお客さん、将来的には長崎からもお客さんをお呼び込みたいということで、先ほど申しました福岡県、また長崎の関係の方にもいまPR等を行っているところでございます。今後はその他の地域でも、販売可能なら計画していくことは、今後の白石町の特産物の販路拡大ということでいえば可能かなと、計画していきたいと考えております。

○委員

イメージとしては行ってから売るという話なんですけれども、例えばもつとどこかの地区を絞って、そこに全部折り込みを入れてもらって、しろいし特産物をネットで買ってもらおうとか、そんな感じでもいいのかなと考えております。またどうしても個別だと送料がネックになりますので、1個1個の品物が小さいものですから、単品で送ると段ボールで買わなければならない。よくあるようにレンコンでしたら4キロくらいがばつと売れるんですが、個別になってくるとなかなか難しいので、どっかで取りまとめて売ったほうが効率的に売れますので、その分、送料の分で道の駅さんの方もフィーが取れるのではないかと考えております。

いま別の件でも話しているんですけれども、もし皆さんとかが自治体だけではなくて連携という形でやるようであれば、今あっているGOT商店街などを上手に活用して関係団体で予算を取って試しにやれないかなとは思っております。以上です。

○商工観光課長

販路拡大の中である一定のところをどっか選択してということでございます。今現在そういったことが取り組みを行っておりませんので、その辺については今後検討させていただきます。最後でましたGOT商店街、これにつきましては商店街の方の活性化をす

るために各種イベントと言うか取り組みに対しての助成となっております。この分については今商工会の方とも綿密に、どういったいった活動をということでは協議をしておりませんので、実際そういう商店街の皆様の中かで取り組みができるものなのか、そのへんを商工会へまた確認をしていきたいと思っております。以上です。

○会長

はい、ありがとうございました。他にございませんか。

○委員

戻るんですけれども、9ページの結婚新生活支援ということできさきご説明をいただいたのですが、その中で39歳以下に適用されるというお話があったと思うんですが、これは国が基準でそういった風になっているんですよね。実際、私も晩婚でして、基準を満たさなくて支援を受けられなかったという経緯があって、とても残念に思ったので、結婚も遅くなっておりますので、年齢制限など無いほうがいいなと個人的には思いました。以上です。

○総合戦略課長補佐

まず国の基準の方を検討し始めて、そこで取り組むとなったら要件緩和の方も考えていくことになるかと思っております。ご意見ありがとうございました。

○会長

ありがとうございました。他にございませんか。はい、お願いします。

○委員

11ページの病児・病後児保育の実施ということで、利用可能施設の拡充に取り組みますとありますけれども、これは今現在本当にあっているのか、そこら辺をもう少し聞きたいと思っております。

○保健福祉課長

病児・病後児保育のまず白石町の現状ですけれども、現在江北町の古賀小児科医院の方にそういった保育所がございますので、そこ江北町が契約して、白石町の方が利用するのならばそちらの方に利用されているというのが、現在その1箇所なんです。近隣で言いますと武雄市の方に、これは病院併設ではないんですけれどもそういった施設がございます。嬉野の方にも樋口病院という病院がされております。今年になってから小城市のひらまつ病院とかそういったところでされているところがありますので、前回については白石町でもぜひ小児科、実際白石町には小児科の専門医が1箇所しかないので、なかなか小児科の先生と保育所の併設を考えていたのですが、まず、基本的には保育所に預けているとか保護者さんが利用できる施設でありますので、例えば通勤先が鹿島であったり武雄であったりそういった部分があるので、まずそういった近隣の施設、そういったところを活用できないかということで検討したいということであげさせて頂いております。

○委員

途中で保育園からお熱がありますからお迎えに来てくださいといわれてそのまま連れていくというような感じですか、それとも熱があるからまっすぐ連れて行くという感じですか。

○保健福祉課長

基本的にこれはその病院に登録をしなければならない。この保育所の施設も定員がありますので、定員がいっぱいになれば預かる事が出来ませんので、まずそのへんの登録が必要であるとか。当然保育所の方で熱があつて保護者さんが迎えに来て、そのまま保護者さんがどうしても仕事にいかなければならないということになれば、登録している病後児保育施設の方に連絡をして空きがあればみていただけるという形になるかと思います。以上です。

○会長

ありがとうございました。他にございませんか。はい、お願いします。

○委員

現状の参考だけ聞かせていただきたいと思います。いま白石町は外国人の方が結構多いんですね。今後人口減少というのが避けられない問題で外国人雇用されているところがたくさんおられますが、現状、白石町として外国人を雇用される際にご支援とかをされていていらっしゃるのでしょうかという質問です。もしなければ、今後その外国人の雇用に対してどのようにお考えでしょうかというのを聞かせていただきたいです。例えば、空き家バンクもそうでしょうし、外国人を雇用されるときに、一番最初に設備費用というのが結構かかるんです。それがいいか悪いかは別にして、この人口減少の中で、労働力をどうやって集約するのかという面からして白石町はどういったふうにお考えでしょうかというのが質問です。

○総合戦略課長補佐

私の方から分かっている範囲でお答えさせていただきたいと思います。町内に住んでいらっしゃる外国人の方は主に技能実習生の方が多くいらっしゃるかと思っております。その技能実習生に対して町独自の支援というものはいま現在していないということになっております。その他、正規にお勤めされている方もいらっしゃるかもしれませんが、その方たちにも対しても特別な支援というものは今現在しておりません。おっしゃられたように、今後人口減少が進む中で外国人の方が来られたら人口が増える、あるいは人口減少の抑制にもなるという考え方も当然ある、あるいは全国的にはそういったふうに位置づけている市町村もありますので、そこら辺につきましては今後、町としても、総合計画、総合戦略を進めていく中でも検討していくことになろうかというふうに思っております。以上です。

○委員

私が言っていることと若干違うみたいで、私が言っているのは人口を増やすという問題ではございません。基本的には事業継続をしていくためにはどうしたらいいのかとい

うことで、例えば定住しなくても違うところから応援にくるとか、そういう体制はどうなっているのでしょうかということを申し上げております。根本的には事業を継続するためにはどうでしょうかということを教えてください。

○会長

外国人に限ったことではなくて、事業を継続していくための支援策ということでしょうか。

○委員

現状、外国人の方がいっぱいおられて、外国人の方がいなければ事業継続できないということがありまして、事業継続するためにはどうしたらいいかということで、町としての何か方針がございますか。

○会長

農業関係からでも事業の継続支援のために外国人の方を雇用されるとかそういった支援策とかそういった情報があればお願いしたいと思います。

○農業振興課長

事業を継続するためということで、外国人を含めてということですが、農業、特に、本町の方は主要作物に玉ねぎというのがあると思いますが、玉ねぎは定植時期と収穫時期が、比較的非常にその時に雇用が必要ということがございますので、こういったことはJ Aさんとかでもサポートの方で、事業を継続するために臨時的に雇用されているというのがございますけれども、町の方で直接というのはいまのところございません。

○会長

商工業関係で何か情報ございますか。

○商工観光課長

商工関係につきましては、町内で外国人を雇われた企業が実際ございます。その方たちについては、自分たちの経営の中で従業員を確保ということで、今のところ商工会を通じてでもそういう雇用についての助成等については現在要望とかあっていない状況でございます。以上です。

○会長

今の町の現状は、ただいま話があった通りですけれども、言われたことは今後重要な部分だと思います。働き手不足で、皆さん、従業員さんをどうやって確保していくかということで頭を悩まされておりますので、その件についても戦略の方に反映できればという風に思います。ありがとうございました。他にございませんか。

それでは、これまでいろんな意見をいただきましたけれども、その他の項で今後のことについては説明があるかと思っておりますけれども、第2期総合戦略の素案を次回お示するという流れになるわけでございますけれども、今日出された意見を十分参考にさせて頂きながら反映させたいと思います。そして、また、今日言えなかったとか、このあと

思いついたとか、そういったことがあれば総合戦略課の方には是非お話をさせていただければという風に思いますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。それでは以上で協議事項の方は終わりたいと思ひます。

4. その他

○総合戦略課長

ありがとうございます。今日いただきました貴重なご意見は、今回の総合戦略の方に取り組んでいきたいと考えております。その他の項と致しまして、事務局からは3回目の会議のお知らせを致します。次回は12月にこの大会議室の方で開催したいと考えております。日付は後もって調整をさせていただきたいと思ひます。内容としましては、今日の会議を踏まえまして、事務局の方と関係各課の方で再度協議を行いまして、第2期総合戦略の素案という形で作成をいたしまして、確認をしていただきたいというふうに考えております。また前回の会議録をお配りしておりますが、お目通しいただきまして修正等があれば事務局の方までご連絡頂きたいと思ひます。いま現在委員さんのお名前が入っておりますが、ホームページ等で公表する際はお名前を削除してからホームページに載せたいと思っております。他に何かありましたらお願ひしたいと思ひますが、ございませんでしょうか。

5. 閉会

○総合戦略課長

それでは次第の閉会の方に入ります。他になければ、本日は長時間にわたってご協力いただき誠にありがとうございました。これをもちまして第2回白石町まち・ひと・しごと創生推進会議を閉会したいと思ひます。本日はありがとうございました。